



### 植物生産分野

オホーツクの大自然と、広大な作物生産現場が私たちのフィールド！

オホーツクは国内有数の食料生産地帯。ジャガイモ、小麦、ビートなどが広大な畑で生産され、私達の食を支えています。オホーツク海周辺には厳しい環境に適応したアッケシソウなど、未知の能力を秘めた植物が自生しています。作物学、資源植物学、土壌学、植物の病理学と生理学の諸領域を統合した教育研究、さらに、バイオテクノロジーを活用した植物の細胞農業に取り組み、持続的な食料生産に貢献できる人材育成を目標としています。

美しい穂を揺らす  
オホーツク産ビール大麦

北海道のジャガイモは  
生産量日本一



### 動物生産分野

北海道といえば酪農、そして野生動物！

オホーツクでは、広大なエリアを活かした酪農と畑作の複合経営「耕畜連携」が盛ん。動物生産分野では、家畜のエサ作り、飼育技術、繁殖技術、糞尿処理、そして畜産物の美味しさまでサイエンスできる人材育成に取り組んでいます。野生のエゾシカとの共生、不思議な大型鳥類エミューの家畜化、野生小型哺乳類の新規実験動物化と分子生態学、実験動物を使った生殖機能や遺伝子機能の研究など、動物にかかわる教育研究は多岐にわたります。

基礎研究を支えてくれる  
実験動物たち

生殖補助医療や  
家畜増殖に貢献する



### フィールド生物資源保全分野

北海道のフィールドライフ！

世界自然遺産「知床」、釧路湿原国立公園、阿寒摩周国立公園など、キャンパスの周辺は日本有数の大自然がいっぱい。大空を悠然と舞うオジロワシなどの鳥類や、四季を通じて大きく表情を変える阿寒・知床の豊かな森、広大な湿原に分布する野生植物を対象に、生態調査からゲノム解析まで様々なアプローチを用いて「自然のしくみ」について探求しています。フィールド生物資源保全分野では、オホーツクキャンパスならではのフィールドをフル活用して、野生動物植物の生態解明や保全・管理について教育研究を展開しています。

森林や湿原の研究を通じて生態系を守る

野生動物の行動調査から  
保全指針を提言



東京農業大学 北海道オホーツクキャンパス  
生物産業学部 北方圏農学科  
〒099-2493 北海道網走市八坂196番地

ACCESS  
女満別空港まで 札幌から45分  
網走駅よりバスで30分  
女満別空港より車で20分

東京農業大学北海道オホーツクキャンパス 入学センター  
TEL 0152-48-3814 FAX 0152-48-2246  
E-mail nyushio1@nodai.ac.jp

北方圏農学科ホームページ  
https://www.nodai.ac.jp/academics/bio/o\_biop/

QRコード: HP, Instagram, カリキュラム

飛び立て、  
雄大な学びの  
FIELDへ。

東京農業大学 生物産業学部  
北方圏農学科

国内屈指のフィールドを活用し  
「動物から植物まで」「分子から生態まで」  
幅広い領域を扱う  
ユニークな学科です

- 大学園場だけじゃない。広大な生産畑で本物の農学研究
- キノコ採りから原生林調査までが守備範囲。懐の深い生態研究
- 乳牛やエゾシカの管理など、北海道ならではの研究アプローチ
- 日常生活に自然がある。静かでゆとりある地方の暮らし

…など

生物資源  
保全

連携協定フィールド  
阿寒の森

他にはない、本学科独自の  
経験・学び・研究のシーズ(種)が  
詰まっています

植物  
生産

農大網走寒冷地農場

動物  
生産

凍結受精卵  
から生まれた  
北海道和種馬

## 大自然 × 生産現場 × 研究室

1年次・2年次

充実した実習をベースとした学び!

広大な自然と実際の生産現場での実習を通して、  
農学、畜産学、生態学などを総合的に学びます。  
1・2年次の実体験が、より高度な専門科目を  
学ぶための基盤となっていきます。

例えばこんな実習が!

広大な畑で体験する  
砂糖の原料「ビート」の  
育成管理では、  
地域の農家が先生。



「ウシ」・「ウマ」・「ヤギ」・  
「ブタ」・「ニワトリ」と  
ふれ合い、家畜管理の  
基本を学ぶ。



300種類以上の草花が  
咲き、野鳥が繁殖する  
「ワッカ原生花園」で  
自然観察実習。



スノーシューを付け、  
キャンパスをぐるりと囲む  
「フアイトレール」に足を  
踏み入れる冬の自然観察。



牛肉や牛乳の生産を  
支える「哺育センター」や  
「酪農場」で、ウシの  
飼養管理をじっくり実習。



国立公園の「知床」・  
「阿寒」・「網走国定公園」で、  
自然環境の管理や  
保全について学ぶ。



生産現場に学ぶ実習から  
研究へと発展

3年次・4年次

研究室活動と卒業論文研究がスタート!

3年生になると、5つの研究室に分かれて専門的な学びが  
始まります。卒業論文の研究テーマは、フィールドワークを  
主体としたものから、細胞生物学や分子生物学などの  
基礎科学まで、幅広い内容から選択できます。

5つの  
研究室

作物生産  
管理学  
研究室

植物生産  
科学  
研究室

家畜生産  
管理学  
研究室

動物資源  
開発学  
研究室

生態系  
保全学  
研究室

